

Osaka Symphony Orchestra

The 168th Subscription Concert

大阪交響楽団

2012

7.20 金

午後7時開演 [6時開場]
ザ・シンフォニーホール



第168回定期演奏会

《意外? 案外! 展覧会。》

～キンボーのバルトークシリーズ



キンボー・
イシイ=エトウ
指揮 [首席客演指揮者]
Kimbo Ishii-Eto,
Principal Guest Conductor



山下 洋一
ヴァイオリン
Yoichi YAMASHITA, Violin
マグデブルグ・フィルハーモニー
第1コンサートマスター

バルトーク

B. Bartók : 2 Román tánc Sz47a

ルーマニア民族舞曲 Sz47a

ヒンデミット

P. Hindemith : Konzert für Violine und Orchester

ヴァイオリン協奏曲

ムソルグスキー (アシュケナージ編曲)

M. Мусоргский / В. Ашкенази : Сюита 'Картинки с выставки'

組曲「展覧会の絵」



関西から



関西元気文化圏参加事業

主催 — 一般財団法人大阪シンフォニカー協会
後援 — 大阪府 / 堺市 / 朝日放送
特別協賛 — 大和ハウス工業株式会社

TICKET



一般財団法人大阪シンフォニカー協会

PHONE
平日10時—17時

072・226・5522

[http://www.
sym.jp](http://www.sym.jp)

大阪交響楽団 第168回定期演奏会

Osaka Symphony Orchestra The 168th Subscription Concert

「シェフからのメッセージ」

バルトークのこのルーマニア民族舞曲Sz47a、あまり知られてないし、他のよく似た曲名の作品と間違われやすいといった、結構、損な存在であるかもしれませんが、聴衆にとっては、このうえなくバルトークの得意とした“民族音楽収集からの構想”を、これだけコンパクトに生かされている曲が聴けて、“意外”に得なのでは?!

ヒンデミットのヴァイオリン協奏曲、これも“案外”あまり知っている人はいないのでは?

ヴァイオリン専攻だったボクでも当然知らなくて、、、でも何故か実はなんと、ボクの指揮デビュー曲なんです。

92年のタングルウッド音楽祭で指揮科で普通参加、まだ指揮の勉強を始めて数ヶ月だったというのに、いきなり小澤征爾先生にスコア渡されて、「これ宜しくね、リハは明後日だから、がんばって」と、だけいわれて。。。

寝ないで、勉強しましたっけ(汗汗汗・・・)

ソリストは、以前のジュリアードカルテットの第一ヴァイオリン奏者だった、ジョール・スミルノフ先生。

小澤先生とR.ノリントン先生の監督の下、必至で頑張りました。

それ以来、ボクにとって最初で最後になっていたこの曲、ノリントン先生に会う度に「例のヒンデミット」あれ以来やったかい?!と意地悪そうに、言われてましたが、とうとうこの曲19年ぶりに、大阪交響楽団さんと共演することが!!!

今回のソリスト、山下洋一さんは、ボクが音楽監督を務めるマゲデブルグ歌劇場及びマゲデブルグ管弦楽団のコンサートマスターですが、実に美音と個性的な感性の持ち主です。

初めて氏と共演したバルトークの2番の協奏曲の演奏に圧倒され、速攻でヒンデミットの協奏曲と一緒にやりたい!という希望が浮かびました。

楽しみです。

アシュケナージの“展覧会の絵”をやろうとするたびに、言われること: “なんで?なにがいいの?”..... あのですね、ムソルグスキーの原版を知ってる方(多分ピアニスト全員)なら、すぐ分かるとおもうんですけど、つまりは、ラヴェルが端折った部分、削った小節、オーケストラを引き立たせるための特別な工夫、とかそういうものを、一切省いて、原曲の構想を最も保ちながらオーケストレーションされたのが、このアシュケナージ版。テンポの揺らしとかは、彼のアイディアがあったりしますが、この贅肉を削った響きこそ、ムソルグスキーの意とした音の鳴りだったのではないかとおもってます。そのために、弾きにくい吹きにくいといった部分も無きにしも非ずですが、そのくらいは大阪交響楽団さんに頑張ってもらいましょう!

本当は、今回の定期のタイトル、ゴロをあわせて「意外・案外・展覧会」って提案してたんだけど、事務局サイドが「そこまでは... (汗)」、みたいな感じだったので、「意外・案外・展覧会」で収めました。

確かに、内容的には、ラヴェル版のほうが、“外”かもしれないから、悔しいけど納得・・・

なあんで、定期演奏会のタイトルにこだわってる場合じゃないですね! さあ、大阪交響楽団さん、一緒に頑張りましょう!(笑)

大阪交響楽団 首席客演指揮者
キンボー・イシイ=エトウ

山下 洋一 ヴァイオリン

富山市出身。東京芸術大学付属高校、東京芸術大学を経てドイツ、フライブルク音大大学院を修了。これまでに、故大沢和夫、故岩崎洋三、海野義雄、堀正文、浦川宣也、ヴォルフガング・マルシュナーの各氏に師事、第52回日本音楽コンクール・バイオリン部門に入選。1990年ウルム市立歌劇場オーケストラ第1コンサートマスターに就任。1992年よりマゲデブルグ・フィルハーモニーの第1コンサートマスター、並びに同オーケストラの首席奏者で編成するマゲデブルグ室内オーケストラのリーダーに就任、現在に至る。フィルハーモニー・カルテット・マゲデブルグのリーダーとして、ドイツ、イタリア、スペイン、オーストリア、ノルウェー、ヨルダン、日本

の各都市で演奏。ゲヴァントハウス弦楽四重奏団とメンデルスゾーンの八重奏曲を共演。2008-2010年 ベートーヴェンの弦楽四重奏全曲公演を行う。これまでにソリストとして、ウルム市立歌劇場オーケストラ、マゲデブルグ・フィルハーモニー、マックス・ブルッフ・フィルハーモニー、ツヴィツカウ・シンフォニーオーケストラ、富山室内合奏団、東京都交響楽団、N響室内合奏団、東京フィルハーモニーと共演。パツハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス、メンデルスゾーン、ブルッフ、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、シベリウス、バルトーク、プロコフィエフ、ハチャトリアン、ストラヴィンスキー、ショスタコービッチ、コルンゴルド、アルバン・ベルク、ヒンデミット等の協奏曲を演奏。

A席 ¥5,000	青少年学生券1回券 ¥1,000	児玉宏指揮 A席4回セット券 ¥16,000 [第166-169-171-174回]
B席 ¥3,000	青少年学生券5回券 ¥4,000	
C席 ¥2,000	B席10回セット券 ¥25,000	寺岡&キンボー 指揮 A席3回セット券 ¥12,000 [第167-168-173回]
オルガン席 ¥1,000	C席10回セット券 ¥17,500	

■青少年学生券(25歳までの学生)と、定期演奏会の各種セット券は当協会でのみ取り扱いします。■お得な会員制度もございます。当協会にお問い合わせください。■未就学児の入場はご遠慮ください。

一般財団法人大阪シンフォニカー協会 ☎072-226-5522
http://www.sym.jp

郵便振替口座番号 00920-3-23917

加入者名 一般財団法人大阪シンフォニカー協会

ABCチケットセンター (ザ・シンフォニーホール内) ☎06-6453-6000

電子チケットびあ Pコード 165-498(第168回定期演奏会)

☎0570-02-9999[音声自動認識] http://pia.jp/t

ザ・シンフォニーホールへのアクセスは.....>JR大阪環状線「福島」下車、北へ徒歩約7分。JR東西線「新福島」、阪神電車「福島」下車、北へ徒歩約10分。

大阪交響楽団
定期演奏会

《オルガン席》

¥1,000で新発売!!

これまで設定・販売のなかった「オルガン席」84席を1,000円で発売いたします。

「オルガン席」は、根強い人気で、販売を希望する声を多くいただいております。

指揮者の表情やオーケストラの後ろ姿をおたのしみ下さい。

チケットの
お申し込みは

●大阪交響楽団

072-226-5522 (平日10時~17時)

ホームページからもhttp://www.sym.jp

郵便振替口座番号 00920-3-23917

加入者名 一般財団法人大阪シンフォニカー協会

●チケットびあ 0570-02-9999

●ABCチケットセンター 06-6453-6000

オルガン席(84席)

お得なこの機会を
お見逃しなく!

